

目標の柱	5	町民と行政との協働によるまちづくりと未来を拓く行政経営
基本目標(政策)	5-2	未来を拓く行政経営を行います
基本計画(施策)	5-2-4	・質の高い行政サービスの確保

	課	
主管課・係	総務課	総務係
	総務課	管財係
関係課・係	総合政策課	企画政策係

【施策の目的と取組・現状分析】

<p>1 施策の目的(対象・意図)は何ですか？ ※対象(誰が、何が、意図(どのようになることを目指すのか)を対象ごとに記載してください。</p>	職員に求められる能力を高め、多様化する行政課題への対応と住民サービスの向上を図る。																																		
<p>2 「目指すべき状態」になるための成果目標は何ですか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」を実現するために目標とする成果は何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <p>①職員の能力向上。 ②実効性のある効率的な行政組織。</p>																																		
<p>3 成果指標の状況(☆は追加した指標、※は変更した指標)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">単位</th> <th>平成30年度</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th>令和2年度</th> </tr> <tr> <th>実績値</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 職員の対応に満足している町民の割合</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">60.0</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		単位	平成30年度	令和元年度		令和2年度	実績値	目標値	実績値	目標値	A 職員の対応に満足している町民の割合	%	-	-	-	60.0	B						C						D						
			単位	平成30年度	令和元年度		令和2年度																												
	実績値	目標値		実績値	目標値																														
A 職員の対応に満足している町民の割合	%	-	-	-	60.0																														
B																																			
C																																			
D																																			
<p>4 成果指標の実績値は目標値に対してどうでしたか？</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>▼その理由として考えられること</th> <th>見込み</th> <th>▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td></td> <td>③ 取組改善で達成可能</td> <td>本年度着手する第4次行政改革大綱において、目標値を意識したプランを盛り込み実効性を高めていく。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方	A		③ 取組改善で達成可能	本年度着手する第4次行政改革大綱において、目標値を意識したプランを盛り込み実効性を高めていく。	B				C				D				<p>5 令和2年度の目標値達成の見込みと方向付け</p>														
評価	▼その理由として考えられること	見込み	▼その根拠と目標値設定(変更)の考え方																																
A		③ 取組改善で達成可能	本年度着手する第4次行政改革大綱において、目標値を意識したプランを盛り込み実効性を高めていく。																																
B																																			
C																																			
D																																			
<p>6 「目指すべき状態」に対し、これまでどのような取組を行いましたか？</p>	<p>▼「目指すべき状態」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか？箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治研修センター等職員向け研修への参加。 ・人事評価の運用。 																																		
<p>7 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか？</p>	<p>▼ 現状把握に努めましたか。把握した現状とその変化、町民や議会の声などを記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職層による義務的研修のほか、職員自らが希望する研修へ参加することにより、職員の能力向上が図られた。 ・人事評価制度による組織としてのPDCAを実施し、職員の意識改革が図られた。 																																		

【施策の振り返り】

<p>8 2の成果目標の視点から、成果が上がったことは何ですか？</p>	<p>▼ 成果があったと思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修を通じた基礎的な知識の習得と、希望する専門研修により業務の精度向上が図られた。 ・人事評価制度を通じて、組織のPDCA化を進め、意識改革や職員の自己啓発が図られた。
<p>9 2の成果目標の視点から、問題点は何か？</p>	<p>▼ 問題があると思われる点を、2の目標とする成果の視点から原因を踏まえて記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化する行政運営に対応するため、基本的な研修から優秀な職員を育成するための高度な研修への参加も必要である。 ・人事評価制度を運用しているが、人材育成基本方針との整合性や組織にとって重要な制度という認識が低い。

【結論として…(施策の振り返りも踏まえて)】

<p>10 2の成果目標の視点から施策全体の今後の方向性は？</p>	行政改革大綱に基づく効率的な組織運営と、人材育成基本方針等に則った人材育成の取組みを図っていく。										
<p>11 上記を踏まえ、施策の目的を実現させるためには、どのような「解決すべき問題への方策」・「達成できた事項をさらに伸ばす方策」がありますか？また具体的な対応・対策をどうしますか？</p>	<p>▼ 施策を実現するための「解決すべき問題への方策」と「達成できた事項をさらに伸ばす方策」を記入し、それらに対する今後の対応を具体的に記入してください。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:60%;">施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」</th> <th style="width:40%;">具体的な対応・対策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人材育成基本方針の実効性向上</td> <td>人材育成基本方針に則った研修や自己啓発手法の開発</td> </tr> <tr> <td>人事評価制度の活用</td> <td>すでに導入している人事評価制度の目的周知と、制度を活用した職員の人材育成</td> </tr> <tr> <td>第4次行政改革大綱の策定</td> <td>施策の実現に向け前大綱の検証と将来に向けた見直しを行う。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策	人材育成基本方針の実効性向上	人材育成基本方針に則った研修や自己啓発手法の開発	人事評価制度の活用	すでに導入している人事評価制度の目的周知と、制度を活用した職員の人材育成	第4次行政改革大綱の策定	施策の実現に向け前大綱の検証と将来に向けた見直しを行う。		
施策における「解決すべき問題への方策」または「達成できた事項をさらに伸ばす方策」	具体的な対応・対策										
人材育成基本方針の実効性向上	人材育成基本方針に則った研修や自己啓発手法の開発										
人事評価制度の活用	すでに導入している人事評価制度の目的周知と、制度を活用した職員の人材育成										
第4次行政改革大綱の策定	施策の実現に向け前大綱の検証と将来に向けた見直しを行う。										

12 施策を構成する事務事業

番号	事務事業名 (令和2年度新規事業 に★)	所管課 担当係	事業の目的、概要、成果、問題、問題に対する対策を簡潔に記載してください。(2行以内)					
			事業費(千円)					
			元年度決算額	うち一般財源	2年度予算額	うち一般財源	-	-
01	職員の意識改革 研修	総務課	目的	職員の資質を向上し町民サービス満足度の向上を図る。				
			概要	自治研修センターの各種研修会へ派遣を行う。				
			成果	各種研修に派遣することで、職員の資質向上と意識改革が図られた。				
		総務係	問題	職員数が減少する中、人材育成基本方針に基づき、職員の意識改革と育成に計画的に取り組む必要がある。				
			対策	職員一人ひとりのやる気と能力を高めるため、各種研修への参加を促すとともに、人事評価を有効に運用し定着させる。				
			事業費	568	568	948	948	-
02	顧問弁護士設置 事業	総務課	目的	業務執行に関して生ずる法的紛争を未然に防止し、円滑な行政運営を図る。				
			概要	町顧問弁護士による行政における法律問題及び訴訟問題等に対する助言・指導。				
			成果	令和元年度は8件相談し、適切な事務の執行が図られた。				
		総務係	問題	特になし				
			対策	特になし				
			事業費	300	300	300	300	-
03	情報公開審査会・ 個人情報保護審査会	総務課	目的	町民から信頼される情報公開及び個人情報保護を実施する。				
			概要	情報公開条例・個人情報保護条例に基づく不服申立に対する答申及び個人情報保護条例に基づく諮問に対する答申を行う。				
			成果	平成30年度1回開催のみ				
		総務係	問題	特になし				
			対策	特になし				
			事業費	0	0	12	12	-
04	職員提案制度	総務課	目的	職員の業務改善の意識高揚及び活力ある組織づくりを進めるとともに、事務の効率化並びに住民サービスの向上を図る。				
			概要	町の業務に対する企画、改善等の提案を行う。				
			成果	事務事業の改善が図られた。				
		総務係	問題	提案制度のマンネリ化が見られるため、制度の見直しが必要と考える。				
			対策	提案制度に対する意見を集約し、制度の質を高める。				
			事業費	11	11	21	21	-
05	職員採用試験	総務課	目的	町職員としての有能な人材を確保するため、統一試験を実施し、もって人事管理の適正と行政事務の向上を図る。				
			概要	一般行政職の採用試験(大卒・高卒程度)の実施				
			成果	適正な職員数の確保ができた。				
		総務係	問題	土木・建築の専門職の採用				
			対策	技術職員確保のために、工業系高等学校や大学等の教育機関へ訪問し、応募者を確保できるように継続した取り組みを行う。				
			事業費	59	59	130	130	-
06	南会津町振興公 社運営事業	総合政策課	目的	行政サービスを担える組織を運営するため。				
			概要	町の各種事業の受け皿である振興公社への運営費補助。				
			成果	生涯学習事業、健康教室、観光事業等の受け皿として組織が運営されている。				
		企画政策係	問題	町職員が削減される中で、公社に果たす役割が大きくなっているため、運営経費も年々増加傾向にある。				
			対策	行政評価等を活用して、事業のスクラップも含め検討を進める。				
			事業費	122,831	122,831	132,466	132,466	-
07			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
08			目的					
			概要					
			成果					
			問題					
			対策					
			事業費					
事業費(一般財源)の合計(千円)			123,769	123,769	133,877	133,877	-	-